



1年 自然と仲良し！市民の森秋探検

生活科「秋をさがそう」の学習で市民の森を訪れました。子どもたちは、ふかふかの落ち葉の感触を楽しみながら歩いたり、どんぐりや木の実を夢中になって拾い集めたりしました。市民の森「森の仲間」の皆さんからサポートしていただき、気に入った木の実や落ち葉などを板に張り付ける壁掛け作りにも挑戦しました。素敵な秋の宝物が完成し、子どもたちはとても喜んでいました。豊かな自然の中で季節の変化を感じ取り、秋と楽しく触れ合うことができました。



二学期各学年の教育活動から



2年 見附のすてき大発見！

生活科の学習で、見附の町のすてき探しをしました。1学期の探検から、もっと詳しく調べたいお店や施設などを決め、グループごとに探検に出かけました。建物の中を見たりインタビューをしたりする活動を行いました。初めて見たものや知ったことに目を輝かせ、たくさんの「すてき」を発見することができました。地域のことを知ることにより、今までよりも見附のことが好きという子どもたちに育っています。



3年 見附商店街のファンを増やしたい

3年生にとっては、意外と知らないことが多い商店街。まずは、「商店街を知りたい。活躍している方は？お客さんの気持ちは？今と昔では違うの？」など、どんどん疑問が出てきました。商店街の方に尋ねたり、市のホームページで調べたり、まちの名人のお話を聞かせていただいたりしています。「見附ショッピングフラワーロード」主催のクイズの謎解きもチャレンジしてみました。今後、商店街への関心を高めるために、①「今と昔」②「商店街の良さを伝えるイベント」③「商店街で活躍する人」以上の3つのテーマを掘り下げて学習を進めていくための準備をしているところです。



4年 命を守る行動 ～自助・共助・公助～

非常食を試食したり、避難所生活を体験した方々から話を聞いたりして、災害が起きた後の生活に目を向けた子どもたち。災害発生時や発生後の生活において、人と人が助け合うことの大切さや温かさに気付きました。災害が起きたら人々はどう助け合っていくのか。見附市の備えや取組、地域の自主防災組織の取組を調べていくことで、公助、共助、自助は相互に関わっていることに気付き、公助と共助に関心をもったり、自ら関わったりしていくことが、自分の命を守る行動（自助）につながっていくと考えました。いざというときには身近な人同士、声を掛け合い、行動を促すことも必要だと知り、一番身近な家族に工夫を凝らして学びを発信しました。



5年 目標×仲間＝喜びいっぱい

「お米の消費を増やすこと」を目標にグループごとに調べ学習を行いました。そして、すぐろくやスタンプラリー、博物館や劇など、それぞれのグループが工夫を凝らしてイベントを作り、たくさんの参加者に思いを伝えました。この学習を通して、お米の大切さと仲間と協力する喜びを学びました。なお、本年度も一六の市でお米の販売を行いました。売上金でプロジェクションライトを購入し、学校に設置しました。夜お近くにおいでの際は、ぜひご覧ください。



6年 かがやく企画力

6年生の総合的な時間は、1学期に行った遠足に関連付け、見附のよさを再発見することから始まりました。修学旅行で訪れた佐渡と比較することで、さらにそれぞれの地域の良さに気付きました。今は、10年後の見附をさらに良くするためにチームに分かれて様々な事業を提案しています。また、2学期は運動会に向けて自分たちでプロジェクトを組織して全校を動かす経験をしました。活動が制限される中でしたが、開会式、応援、閉会式等、それぞれに子どもたちのアイデアが生かされた運動会を創り上げることができました。3学期に向け、これまで身に付けた企画力を生かし、卒業プロジェクトを始動しました。

